

令和6年度 危険物取扱者試験案内 前期(4月~9月)用

一般財団法人 消防試験研究センター埼玉県支部

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-13-8 TEL 048-832-0747 FAX 048-825-0748

試験案内に記載されている内容を、最後までよく確認いただいた上でお申し込みください。
お申し込みをいただいた方は、記載された全ての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

「埼玉県手数料条例の一部を改正する条例」に基づき、令和6年5月1日から試験手数料が次のとおり改定されます。

《新試験手数料》 令和6年5月1日以降の申請分から
甲種7,200円 乙種5,300円 丙種4,200円

7月14日さいたま市(埼玉大学)の試験から、**新手料料を納付**していただくこととなります。

旧手数料で受験申請をされた場合は、**差額の払込が必要**になります。ご注意ください。⇒詳細は表紙裏面へ

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の5第1項の規定により、埼玉県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

回数	試験日	種類	試験会場	電子申請期間 (受付終了日の23時59分まで)
				書面申請期間(消印有効)
1	5月26日(日)	全種類	(さいたま市)埼玉大学 JR京浜東北線「北浦和駅」西口から 「埼玉大学」行バス利用約15分	4月12日(金) ~4月22日(月)
旧手数料↑				
新手料料↓				
2	7月14日(日)	全種類	(さいたま市)埼玉大学 JR京浜東北線「北浦和駅」西口から 「埼玉大学」行バス利用約15分	5月31日(金) ~6月10日(月)
3	7月21日(日)	全種類		
4	8月4日(日)	全種類	《定員制》 (深谷市)埼玉工業大学 JR高崎線「岡部駅」下車徒歩約15分	6月10日(月) ~6月24日(月)
5	9月29日(日)	全種類	(川崎市)東京国際大学第1キャンパス 東武東上線「霞ヶ関駅」南口下車徒歩5分 JR川越線「的場駅」下車徒歩13分	8月8日(木) ~8月19日(月)

以下の点について御了承をお願いします。

①試験日程や会場が変更になる場合があります。
当支部のホームページを定期的に御確認ください。

②会場の関係等から、申請期間中でも受付を終了させていただく場合があります。



試験の種類及び試験時間

試験の種類	集合時間	試験時間
甲 種	9 : 30	10 : 00 ~ 12 : 30
乙種 4 類 (午前の部)		10 : 00 ~ 12 : 00
乙種 4 類 (午後の部)	13 : 30	14 : 00 ~ 16 : 00
乙種 1・2・3・5・6 類		
丙 種		14 : 00 ~ 15 : 15

注意)

- 乙種 4 類は「午前の部」と「午後の部」に分けて実施します。
- 試験時間は、当支部は「受験票」で指定した時間になりますので、集合時間を間違えないよう注意してください。 受験者は、「午前」「午後」を選ばません。

試験手数料及び納入方法

一旦払込みをされた試験手数料はお返しできません。

(1)

	電子申請	書面申請	備考
試験手数料	第 1 回〔5月26日(日)〕の試験まで下記の手数料です。 甲種 6,600円 乙種 4,600円 丙種 3,700円		非課税
	第 2 回〔7月14日(日)〕の試験から 新手数料 となります。 甲種 7,200円 乙種 5,300円 丙種 4,200円		
払込方法	①ペイジー (Pay-easy) ②コンビニエンスストア決算 ③クレジットカード	① 当センター指定の払込取扱票を使って郵便局窓口で払込。 (ATM 振込不可) ② 「 振替払込受付証明書 (お客さま用) 」 受験願書貼付用 (郵便局の受付日附印のあるもの)」を受験願書 2 枚目に添付してください。	
払込手数料	有料	有料	

- (2) 会社等で 2 人以上の受験者がいる場合 (複数種類受験を含む) は、一括して合計金額を振り込んでも差し支えありません。その場合は「振替払込受付証明書 (お客さま用) **受験願書貼付用**」を最初の受験願書に糊付けし、受験者名簿 (様式任意) と共に一括で送付してください。

願書の作成から免状の交付申請まで

試験概要を理解し、どの試験種類をいつ受験するか決める。

受験願書の作成・申請

書面申請：郵送等による申請 P2～4参照

電子申請：インターネットによる申請 P2～4参照

1 受験願書の作成 P4～7参照

受験願書記入例参照

2 受験願書の提出 下記参照

3 受験票の受領 P8～10参照

受験票は試験日の約1週間前に郵送します。

1 受験願書の作成提出 P4～7参照

(一財)消防試験研究センターのホームページから申請してください。

<https://www.shoubo-shiken.or.jp>

〈電子申請に関する問合せ先〉

(一財)消防試験研究センター電子申請室

TEL 0570-07-1000 (有料)

2 受験票のダウンロード P8～10参照

受験票は申請者が印刷してください。

(試験日の約1週間前に「受験票印刷可能メール」が送信されます。)

受験票に写真を貼付 P8～10参照

試験日には、写真を貼った受験票を持参してください。

受験票には、試験室及び集合時間が記載されているので遅れずに集合してください。

受 験

P11参照

合格発表 P11参照

試験当日、合格発表日をお知らせします。

合格の方

免状交付申請 P11～12参照

再受験する方

受験票や結果通知書は、電子申請の資料にもなりますので大切に保管してください。なお、甲種を受験された方は甲種を再受験する際の受験資格を証明する添付書類になります。

- 1 受験願書は、受験を希望する都道府県の支部等に直接持参又は郵送してください。
- 2 願書は折り曲げずに提出してください。
- 3 郵送の場合は、受付最終日消印のあるものまで受け付けます。
- 4 提出先

送付用あて先として活用できます。

〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8

ほまれ会館2階

(一財)消防試験研究センター埼玉県支部

TEL 048(832)0747

FAX 048(825)0748

【受験申請手続の詳細】

1 受験申請の方法

受験申請の方法は、電子申請（インターネットにより申請するもの）と書面申請（書類の郵送により受験申請をするもの）の2通りがあります。

（1）電子申請

ア 各種証明書類の貼付が不要な方は、電子申請ができます。

甲種……………4種類以上の乙種免状による受験資格を適用して受験する方。

（4種類以上の乙種免状…乙種第1類又は第6類、第2類又は第4類、第3類、第5類）

乙種・丙種…証明書類が不要な方。

（火薬類免状による科目免除を希望する方、消防団員による科目免除を希望する方は申請できません。）

再受験……………過去3年以内に受験したことがある方で同じ種類・内容の試験を希望する方。

（一度受付しているので証明書類の添付が不要）

但し、その時の受験票又は結果通知書が電子申請の入力の際に必要です。

（注意）

* 電子申請ができる試験種類は1種類のみです。（2種類以上受験する方はすべて書面申請をお願いします。）

* 危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状番号の入力が必要です。

* 受験申請の受付時間は、受付開始日の9時00分から締切日の23時59分までとなります。

イ 試験手数料の納入方法については、表紙裏頁に記載の「試験手数料及び納入方法」の電子申請の欄をご覧ください。なお、一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。試験日、試験手数料、受付期間を十分ご確認のうえ納入してください。

（2）書面申請

ア 受験する種類ごとに、次の書類が必要です。

（ア）受験願書

（イ）甲種の受験者は、15頁の別記4の表中に示された「証明書類」欄の書類を願書B面裏にのり付けしてください。

※ 卒業証書、免状は、コピー可（縮小したものも可）但し証明書はコピー不可

（ウ）乙種の試験科目の免除を受ける方は、「乙種危険物取扱者免状」、「火薬類免状」の写し（コピー）を願書B面裏にのり付けしてください。

（エ）丙種の試験科目の免除を受ける方は、「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長等が証明するもの）及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明するもの）を提出してください。（13頁（3）参照）

（オ）「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」（「払込取扱票」の右端の赤枠の紙片）を受験願書の所定欄に貼って提出してください。なお、本人控えの「振替払込請求書兼受領証」（青字のみで印刷されている紙片）やATM利用明細書等を貼った受験願書では受付ができませんので、手数料の納入については、十分注意してください。

（カ）危険物取扱者免状をすでに取得している方は、免状のコピー表・裏を科目免除にかかわらず必ず貼付してください。

なお、危険物取扱者免状の再交付や書換えの必要な方は、受験願書申請の前に再交付や本籍等の書き換えをしてください。

（キ）その他

過去にいずれかの支部で甲種の試験を受験したときの受験票（電子申請の場合は受験票（A）の控え）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。

イ 試験手数料の納入方法については、表紙裏頁に記載の、「試験手数料及び納入方法」の書面申請をご覧ください。なお、一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。試験日、試験手数料、受付期間を十分ご確認のうえ納入してください。

ウ 受験申請受付は、次の場所で行っています。受験願書は、書面申請の場合は願書申請期間中に申請先に直接持参するか、郵送してください。また、郵送の場合は、申請期間最終日の消印がある郵便物まで受付します。なお、他の都道府県で受験する願書については、埼玉県支部で受け付けることはできません。

郵送方法についてのお願いです。時々、郵便物の不着事故が発生していますので、特定記録郵便か簡易書留郵便のご利用をお勧めします。

願書申請先

受付時間	申請先
月曜日 ~ 金曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 13 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日除く)	〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8 ほまれ会館2階 (一財)消防試験研究センター埼玉県支部 試験係 TEL 048(832)0747・FAX 048(825)0748

2 受験申請手続上の注意事項

- (1) 願書申請期間最終日を過ぎた消印の受験願書や、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」が貼付されていない受験願書、及び、記載事項に著しい不備のある受験願書は、受理できません。この場合は、受験申請書類等を返却いたします。返却費用はご本人様負担となります。
- (2) 願書申請期間最終日後は、受験申請した「試験日」と「試験種類」の変更、又は、取消しはできません。
- (3) 願書受理後、受験申請書類等及び一旦納入された試験手数料は、お返しできません。
- (4) 試験手数料は、願書申請期間最終日後に申請を取り消した場合、又は、受験をしなかった場合でも、お返しできません。
- (5) 願書提出後、住所、氏名、本籍が変更になった場合は、速やかにご連絡ください。
- (6) 試験日・試験種類・願書申請期間を確認の上、書類に不備のないように郵送（原則）してください。なお、受験願書は汚したり、折り曲げたりしないでください。
- (7) (一財)消防試験研究センターは、試験実施機関であり受験準備のための講習会の実施や参考書の販売はしていません。

3 受験願書の作成要領

書面申請の場合は、6頁の別記1「受験願書の記入要領」を参照のうえ、正しく受験願書を作成してください。また、電子申請の場合は、各画面に表示される入力指示にしたがって、必要事項を入力してください。

下記①②のような**複数種類の受験については、書面申請のみとなり電子申請はできません。**受験する種類ごとに受験願書を1枚ずつ作成し、同じ封筒に入れて申請して下さい。

① 異なる試験時間帯の場合（併願受験）

午前・午後で1種類ずつ受験することができます。

② 同一試験時間帯の場合（複数受験）

乙種危険物取扱者免状を有する方は、同一試験時間内で乙種を**2種類又は3種類**（乙種第4類を除く）まで受験することができます。この場合、試験時間は1種類につき35分ずつです。

試験時間は、2種類受験の場合 $35分 \times 2 = 1時間10分$ 、3種類受験の場合は、 $35分 \times 3 = 1時間45分$ となります。

(記入例)

11

危険物取扱者試験受験願書(全国共通)

危

※

① 一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 **埼玉** 申請日 令和 **05** 年 **04** 月 **06** 日

申請者氏名 ③ **サイタマ** **シロウ**
氏名 ④ **埼玉** **次郎** フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください。

生年月日 ⑤ **昭和40** 年 **07** 月 **15** 日生 本籍 **埼玉** 都道府県 本籍コード **11**

郵便番号 **330-0062** 必ず記入してください ⑦ 自宅電話番号 **048-832-0747** 又は携帯電話番号

住所 ⑥ **埼玉県さいたま市浦和区仲町**
2-13-8
浦和マンション2-203号 ⑧ 勤務先名又は学校名 **浦和消防工業(株)**
連絡先電話番号(携帯電話も可) **048-123-4567**
内線(**890**)

⑨ 試験日 令和 **00** 年 **00** 月 **00** 日 ※1

⑩ 試験種類 甲 乙 丙 種 第 **4** 類

⑪ 受験地 **〇〇〇〇市**

⑫ 甲種受験格

⑬ 科目免除 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を 受ける 受けない
乙種危険物取扱者免状の交付を 受ける 受けない
5年以上消防団員として勤務し、かつ基礎教育又は専科教育の警防科を修了して者に 該当する 該当しない

⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること 甲 乙 丙 種 第 **3・5** 類

⑮ メールアドレス(任意) @

⑯ 他都道府県での受験申請状況
都道府県コード **13** 試験種類 甲 乙 丙 種 第 **1** 類 試験日 **4月22日**

⑰ 該当する職業等に1つだけ○を記入してください
① 高校生 ⑦ 危険物を扱うその他の事業
② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員
③ ガソリンスタンド ⑨ 警備業
④ 化学工業 ⑩ ビル管理業
⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他
⑥ 危険物の運送業

⑱ 免状取得の有無について記入してください 有 無

⑳ 免状番号 **1123 0042 5678**

取得している危険物取扱者免状は全部記入してください	元号コード (昭和:3 平成:4 令和:5)	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード
甲						
乙1						
乙2						
乙3						
乙4						
乙5						
乙6	4	07 年 07 月 05 日	00123		埼玉	11
丙						

(記入上の注意)
● ● ● ● ●
※印は、記入しないでください
本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
特は該当するものに○を記入してください
免状番号は、免状写真裏面に記載されている番号です。

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード ※

(A面) 試験センター発行 506

受験願書の記入要領

- ・受験願書は、5頁の記入例を参考にして受験者本人が記入してください。
- ・A面及びB面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ・黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- ・書き損じた場合は、横2本線を引いて、その行間に正しく書いてください。(訂正印は必要なし)
- ・年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。

A面

① 都道府県名欄には「埼玉（受験をする都道府県名）」と記入してください。
② 申請日を記入してください。
③ 左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④ 左づめで記入してください。外国籍の方は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤ 該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の場合は「外国籍」と記入してください。 本籍コードは受験願書B面の裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥ 郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。 また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。
⑦ 電話番号の局番等の間は1マス使用して「-」でつなげてください。
⑧ 勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で 連絡の取りやすい電話番号 を記入してください。
⑨ 希望する試験日を元号から記入してください。
⑩ 受験する試験種類に○を付けてください。 乙種の受験者は受験する危険物の類 を記入してください。
⑪ 試験案内の受験地を記入してください。
⑫ 甲種の受験者は、受験資格を試験案内の16頁「別記4甲種危険物取扱者試験の受験資格」の表に記載された「願書資格欄記入略称」により記入するとともに、証明書類を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 乙種、丙種の受験者は、記入する必要はありません。
⑬ 乙種1類又は第5類の受験者で、火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。 なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄にのり付けしてください。 丙種危険物取扱者の受験者で、5年以上消防団員として、かつ、消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に該当する方は○を付け、消防団員歴証明書と消防学校の教育修了証明書を、受験願書B面裏の各種証明書等貼付欄にのり付けしてください。
⑭ ⑩の他に同一の支部で試験を受ける場合は、記入してください。 (2種類以上の受験者は、それぞれの願書に他の種類を記入してください。)
⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。(携帯電話アドレス可) なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)を行ってください。

- ⑯ 3か月以内に①の都道府県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、乙種試験に係る危険物の類、試験日を記入してください。
- ⑰ 現在の職業等で、該当する箇所に○を付けてください。
- ⑱ 危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。
- ⑲ 危険物取扱者免状の交付を既に受けている場合は、該当する種類の元号コード（昭和：3 平成：4 令和：5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。
なお、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面裏にのり付けしてください。
- ⑳ 免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

B面

- ① 所定の払込用紙を使って、試験手数料（表紙裏面「試験手数料の納入方法」を参照）を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。
郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印の押印の有無を確認し、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を全面のり付けしてください。
注：本人用の「振替払込請求書兼受領書」では受験できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書（お客さま用）**受験願書貼付用**」を紛失しても、当センターで責任を負えません。

この部分を願書B面にしっかり貼ってください。 →

受付局日附が押印されている事を確認してください。

振替払込受付証明書（お客さま用）
（郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人）
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

払込金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				¥	0	0	0	0

加入者名 一般財団法人 消防試験研究センター

口座番号 00170-3-136220

※ ご依頼人住所 **さいたま市浦和区仲町 2-13-8**

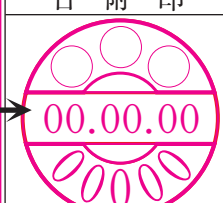
氏名 **埼玉次郎**

（電話 048-832-0747）

[郵便局へ]⇒日附印を押印

貼って
ください

日 附 印



日附印なき証明書は無効
（払込人⇒消防試験研究センター）
（承認番号東証第2015号）

表紙裏面「試験手数料の納入方法」を参照

注意事項（重要）

- 次のものを貼付しても払込証明書として認められませんのでご注意ください。
 - ・受付局日附印のないもの
 - ・払込金額の記入がないもの
 - ・振替払込請求書兼受領証（本人控用のもの）
 - ・自動振込機（ATM）使用によるご利用明細票
 - ・当センター指定以外の払込用紙を使用したもの
 - ・複写された郵便振替払込受付証明書
- 「振替払込受付証明書」を紛失されても当センターでは責任を負えません。

B面裏

- ①「実務経験」の受験資格で甲種を受験される方は、会社等の証明が必要です。事業所（会社等）の印及び証明者の印の押印を必ず受けてください。
「実務経験」以外の資格で甲種を受験される方、乙種及び丙種を受験される方は、必要ありません。
- ②既に危険物取扱者免状を有している方は、科目免除の有無にかかわらず、免状の写し（表・裏ともコピーしたもの）を貼り付けてください。

【受験申請受理後の手続きの詳細】

1 受験票及び写真について

(1) 受験票の送付方法及び注意事項

ア 電子申請の場合

電子申請締切後、試験日の約1週間前に申請時に入力された電子メールやアドレスあてに「受験票印刷可能メール」が送信されます。この送信を確認後、受験者本人が受験票をダウンロードして印刷してください。

イ 書面申請の場合

受験票は、試験日の約一週間前に受験者宛に郵送します。受験票の記載内容に誤りのある場合は事前にご連絡ください。また、**試験日直前の金曜日（当日が祝日の場合は、その前日）までに届かない場合や紛失した場合には、必ず、同日の午前9時～午後5時までに当支部にお問合わせください。**

ウ 共通事項

受験票に記載してある集合時刻・試験開始時刻・試験室等を、受験票で必ず確認してください。→受験票のイメージ図は、9頁・10頁の別記2をご覧ください。

また、受験票の氏名欄（9・10頁の別記2中の①）に、受験者の氏名を漢字（かい書）で必ず記入してください。

(2) 写真について（書面申請、電子申請共通）

ア 受験日前6ヶ月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、上三分身像の縦4.5cm、横3.5cmの大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を受験票に貼ってください。→下記のイメージ図を参考にしてください。

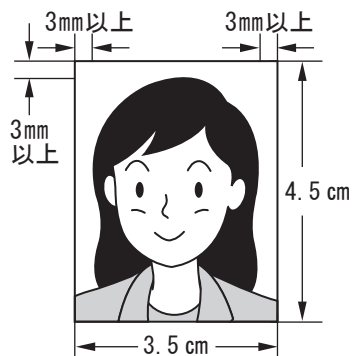
イ 写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状の作成に使用します。試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。

ウ 写真が不鮮明な場合等においては、本人確認のため試験監督員が身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。

受験票に貼付する写真の適否に関するイメージ図

【良い写真例】

◎指定の規格にそった容易に人物を特定できるもの。



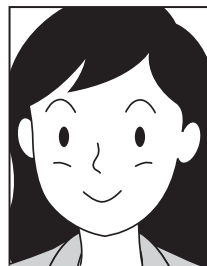
《注意》

- ・セロテープ止め禁止
- ・写真専用紙でない紙に印刷（プリント）したデジタル写真は使用できません
- ・カラーコピー写真不可
- ・のりが写真からはみ出さないこと

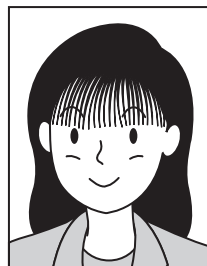
【悪い写真例】



◎指定の寸法を満たしていないもの（顔の部分が小さすぎる）



◎指定の寸法を超えているもの（顔が大きすぎて頭が切れている）



◎前髪が長すぎて目元がみえないもの。



◎影がかかっていたり、露出不足で全体が暗く人物の特定が困難なもの。



◎下向きのもや目をつむる等により、人物の特定が困難なもの。

受験票のイメージ図

1 電子申請者用受験票

注意事項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆（B又はHB）、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いします。
- 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに埼玉県支部からの緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

一般財団法人 消防試験研究センター ○○県支部
 〒123-4567 Tel 123-456-7890
 ○○県○○市○○区○○町1-23-4○○市センタービル 10階

山折りしてのり付けしてください

危険物取扱者試験 受験票

写真
縦 4.5 cm × 横 3.5 cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影月日を記載し6ヶ月以内に撮影したもの（正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、正面上三分身像）しっかりとり付けてください。（セロハンテープ不可）

受験番号	E1-0018	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シケン タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 ①		
試験日時	00年00月00日 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 3階 3101		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
 001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

切り取ってください

危険物取扱者試験 受験票(控)

受験番号	E1-0018	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シケン タロウ		
氏名	試験 太郎		
試験日時	00年00月00日 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 受験票メッセージ1----> 受験票メッセージ2----> 3階 3101		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	01
既得免状			
受験者 現住所			

受験票を送信しますので
ダウンロードしてA4の
用紙に印刷してください。

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
 に必要ですので、大切に保管してください。

2 書面申請者用受験票

危険物取扱者試験 受験票(控)		危険物取扱者試験 受験票	
複数受験者座席番号(0023)			
受験番号	B1-0018	試験の種類	乙種第1類
カナ氏名	シケン タロウ		
氏名	試験 太郎		
試験日時	00年00月00日 9時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1		
(試験室)	受験票メッセージ1…> 受験票メッセージ2…> 3階 3101		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	02
既得免状	乙4		

999-9999
〇〇県〇〇市〇〇町
1-23-45
試験 太郎 様

受験票

一般財団法人 消防試験研究センター 〇〇県支部
〒123-4567
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町1-23-45
〇〇市センタービル10階
Tel 123-456-7890
999 9999 0001

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
1 受験票がない場合
2 受験票に写真を貼っていない場合
3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

切
り
取
り
線

複数受験者座席番号(0023)	
受験番号	B1-0018 試験の種類 乙種第1類
カナ氏名	シケン タロウ
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。 ①
試験日時	00年00月00日 9時30分集合 10時00分試験開始
試験会場	〇〇〇〇試験会場 〇〇市〇〇区〇〇町 1-1-1
(試験室)	3階 3101
免除科目	法令全部・物化全部 資格判定コード 02
既得免状	乙4

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)
試験当日、この受験票は回収します。

※ 注意すべき重要事項 (1・2共通)

- 1 適正な写真を貼り忘れないようにしてください。(セロテープ不可)
- 2 電子申請、書面申請を問わず、全ての受験者は「氏名」欄 (①) に漢字(かい書)で記入してください。記入もれに注意してください。
- 3 書面申請の受験票が試験日直前の金曜日(当日が祝日の場合は、その前日)までに届かない場合や紛失した場合には、必ず、同日の午前9時～午後5時までに当支部にお問合わせください。
なお、受験申請が受付されている方については、試験当日、試験本部で受験票の再交付を受けて受験することができます。
- 4 試験当日、写真を貼った受験票を必ず持参してください。受験票がなければ試験は受けられませんので、受験票の保管に十分注意してください。

(一財)消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会の実施や参考書の販売はしておりません。各地区の危険物安全協会へお問合わせください。

【試験日当日の注意事項・合格発表等】

1 試験日当日の注意事項

- (1) 適正な写真を貼った受験票を持参していないと受験できません。ただし、受験票の不着事故や紛失により試験会場に持参できない場合であっても、所定の大きさの顔写真1枚及び運転免許証等の証明書類を試験本部（試験日当日に試験会場に設置。）に持参し、受験票の再交付を受けることにより受験できるようになります。
また、受験票に貼られた写真が不鮮明な場合には受験できません。
- (2) 試験当日は、試験室において「受験上の注意事項」の説明をしますので、集合時刻を守ってください（受験番号、集合時刻、試験室名、号館は、受験票に記載）。
- (3) 試験に使用できる文具類は、HB又はBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴムのみで、ボールペンは使用できません。また、電卓・定規類・計算尺等も使用できません。
- (4) 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。また、これらの電子機器類を時計として使用することはできません。
- (5) 来場には公共交通機関を使用してください。
- (6) 試験会場への問い合わせは、固くお断りします。ただし、試験日当日の緊急なご連絡は、受験票（控）に記載してある電話番号に電話してください。なお、この電話は、試験日当日の午前8時以降に通話が可能となるものですので、ご注意願います。
- (7) 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに埼玉県支部からの緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

2 合格発表

- (1) 合格発表の日は、試験当日、試験会場でお知らせします。
- (2) 発表日には、埼玉県庁本庁舎南側玄関掲示板及び（一財）消防試験研究センター埼玉県支部の入口に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者全員に圧着式郵便はがきで合格の結果を郵送します。
また、当センターホームページにも、合格発表日の正午から合格者の受験番号を掲載します。
- (3) 電話等による合格の問い合わせには、一切応じられません。

3 免状の交付申請手続

合格された方は、免状交付申請期間内（結果通知書に記載。）に、次の書類を埼玉県支部窓口へ提出（郵送又は直接）し、免状の交付申請をしてください。

(1) 提出する書類等

ア 試験結果通知書及び免状交付申請書

記載事項に誤りがないか確認し、申請者氏名等を記入してください。

また、2連の「免状交付申請書」・「試験結果通知書」は、切り離さないで提出してください。

イ 免状交付申請手数料 2,900円（非課税）

下記のとおりクレジットカードやペイジーによる電子納付での支払をしてください。

また、電子納付が困難な場合は納付書による支払いも可能です。

○電子納付による方法

下記QRコード又はアドレスから埼玉県電子申請・届出サービスに入り支払い手続きをし、埼玉県から送信される「手数料支払方法の御案内【埼玉県電子申請】」メールにある12桁の整理番号を申請書裏面の手数料欄に記入してください。

- ・利用可能な支払方法等：クレジットカード（Visa、Mastercard、JCB、AmericanExpress、DinersClub）、ペイジー（ATM支払又はインターネットバンキング）
- ・アドレス <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0404/menjotesuuryo.html>
- ・QRコード



○納付書による方法

電子納付（クレジットカード又はペイジー）による支払が困難な場合は、納付書兼領収書による支払も可能です。

- ・配布場所：県内の各消防本部及び消防試験研究センター埼玉県支部で配布しています。
- ・納付書兼領収書に必要事項を記載し、お近くの金融機関（郵便局、コンビニを除く）で支払いを行い、本人控えの納付書兼領収書（コピー可）を申請書の「納付書兼領収書貼付欄及び埼玉県収入証紙貼付欄」にのりづけしてください。

ウ 免状の受取り方

- ①窓口で受取り・・・上記アの免状交付申請書余白に「窓口受取」と記入してください。
(交付日以降埼玉県支部で受領してください。)
- ②郵送受取り・・・希望された方には交付日に郵送いたします。免状返送用封筒
(次頁の免状返送用封筒の作成例参照)を申請の際に提出してください。

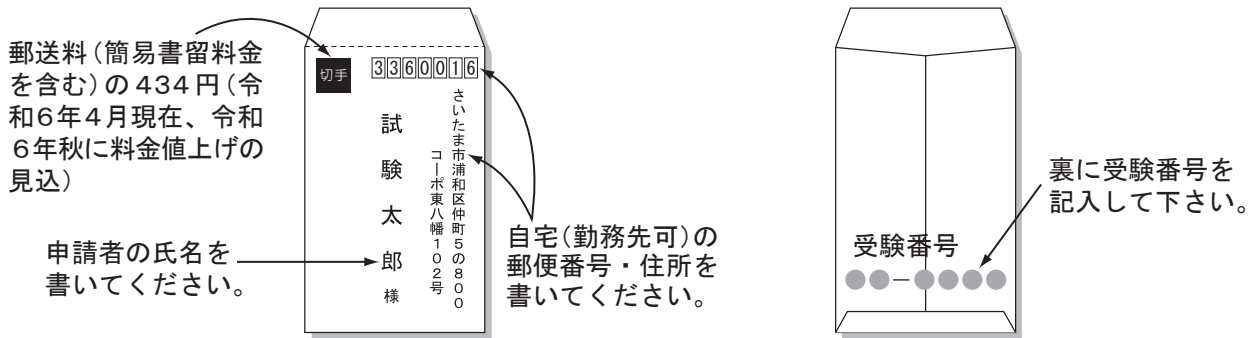
エ 既得免状

すでに危険物取扱者免状を持っている方は必ず申請時に提出してください。

(2) 免状交付予定日

結果通知書に記載します。

免状返送用封筒の作成例 (「運転免許証」が入る程度の大きさの定形封筒)



4 問い合わせ先

■ 受験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 埼玉県支部
電 話 048(832)0747

■ 電子申請に関すること

電子申請(インターネットからの受験申請)については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認のうえお申込みください。

なお、電子申請に関するトラブル等の問い合わせは、下記までお願いします。

(一財)消防試験研究センター 電子申請室

専用電話 0570-07-1000(有料)

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日を除く。)

(一財)消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

5 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター(以下「当センター」という。)は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は、次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等について、当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するため措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務器機等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し、適切に取り扱います。

【危険物取扱者試験の概要】

1 試験の種類

(1) 甲種危険物取扱者試験

甲種危険物取扱者試験は受験資格を満たすことが必要です。

受験資格及び必要証明書類の詳細は、15頁別記4「甲種危険物取扱者試験の受験資格」のとおりです。受験願書に該当する資格を記入するとともに証明書類を貼付してください。

(2) 乙種危険物取扱者試験

ア 受験資格は必要ありません。

イ 試験科目の免除

既に乙種危険物取扱者免状を有する方には、申請により「法令・物化」の全部が、また第1類又は第5類の受験者で火薬類免状を有する方には、申請により「物化」の一部及び「性消」の一部が、それぞれ免除されます。

乙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりですので、免除資格を有する方で免除を希望される方は、受験願書の科目免除欄の該当欄に○を付してください。

免除資格者	免除種類	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する者	全 類	①法令	全部免除	0 問	10 問	35 分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消		10 問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	①法令		15 問	24 問	1 時間 30 分
		②物化	一部免除	4 問		
		③性消	一部免除	5 問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①法令	全部免除	0 問	5 問	35 分
		②物化	全部免除	0 問		
		③性消	一部免除	5 問		

〔備考〕「火薬類免状」とは、次の免状を意味します。

◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

(3) 丙種危険物取扱者試験

ア 受験資格は必要ありません。

イ 試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験の免除については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令		10 問	20 問	1 時間 00 分
	②燃焼	全部免除	0 問		
	①性消		10 問		

2 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15 問	45 問	2 時間 30 分
	②物理学及び化学（物化）	10 問		
	③危険物の性質ならびにその火災予防及び消火の方法（性消）	20 問		
乙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	15 問	35 問	2 時間
	②基本的な物理学及び基本的な化学（物化）	10 問		
	③危険物の性質ならびにその火災予防及び消火の方法（性消）	10 問		
丙種危険物取扱者試験	①危険物に関する法令（法令）	10 問	25 問	1 時間 15 分
	②燃焼及び消火に関する基礎知識（燃焼）	5 問		
	③危険物の性質ならびにその火災予防及び消火の方法（性消）	10 問		

3 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験は、ともに試験科目ごとの成績が、それぞれ60パーセント以上（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）であること。

なお、乙種第1類又は5類の受験者であって、同一試験時間内で複数種類の受験により試験科目の一部が免除された方については、免除された問題以外の問題で上記の成績であること。

4 参考

免状の種類と取扱いができる危険物

免状の種類	取扱いのできる危険物	
甲 種	全種類の危険物	
乙 種	第1類	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類などの酸化性固体
	第2類	硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウムなどの可燃性固体
	第3類	カリウム、アルキルアルミニウムなどの自然発火性物質及び禁水性物質
	第4類	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類などの引火性液体
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物などの自己反応性物質
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸などの酸化性液体
丙 種	ガソリン、灯油、軽油、重油など	

甲種危険物取扱者試験の受験資格 (■部分はコピー可、証明書は原本添付)

次表に示す対象者に該当する者は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した者 (別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校、高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・学位記 (学科等の名称が明記されているもの)
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した者 (別表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校、(高等専門学校は専門科目に限る)、大学院、専修学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する者	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の者	実務2年	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状
〔4〕 修士・博士の学位を有する者 (別表1参照)	修士、博士の学位を授与された者で、化学に関する事項を専攻した者(外国の同学位も含む)	学位	学位授与証明書、 ※学位記、修了証書又は修了証明書 (学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの)

- 〔備考〕
- 〔1〕の高等学校・中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
 - 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。)
 - 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面(書式例1を参照してください。)
 - 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
 - 〔2〕の「単位修得証明書」は書式例2を参照してください。
 - 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。
 - 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問合わせください。
 - 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある者は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。
 - 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別表1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科	サ	高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科		材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
カ	応用微生物工学科		材料加工工学科		生物資源利用学科		分子工学科
	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科	マ	分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科		マテリアル科学科
	機能高分子工学科	シ	材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科		色染工芸学科	ソ	製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工工学科		システム量子工学科	ト	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科	ハ	素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科		塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	フ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科	セ	森林資源科学科		物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科		製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセッシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壤学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック学 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農薬学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 超高温材料 調剤学 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	
ク	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	ス		タ		ニ	
コ	細胞培養学	セ		チ		ネ	
カ				テ		ハ	
						ヒ	

ヒ フ	表面分析 肥料学 ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	フ ヘ ホ マ ミ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 平衡論 平衡・反応論 放射線計測学 放射線物性計測学 膜機能工学 マテリアル工学 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ム メモ ヤ ユ	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 有機機器分析 有機機能性材料	ユ ヨ リ レ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 窯業工学 窯炉工学 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
--------	---	-----------------------	--	-------------------	---	------------------	--

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書 (専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科 ○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○
年 月 日 生

学校教育法第 82 条の 2 に定める専修学校として許可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年数	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。
平成 年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○ 印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

○○第 号

単位修得証明書

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○ ○ ○ ○
年 月 日 生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。
平成 年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○ 印

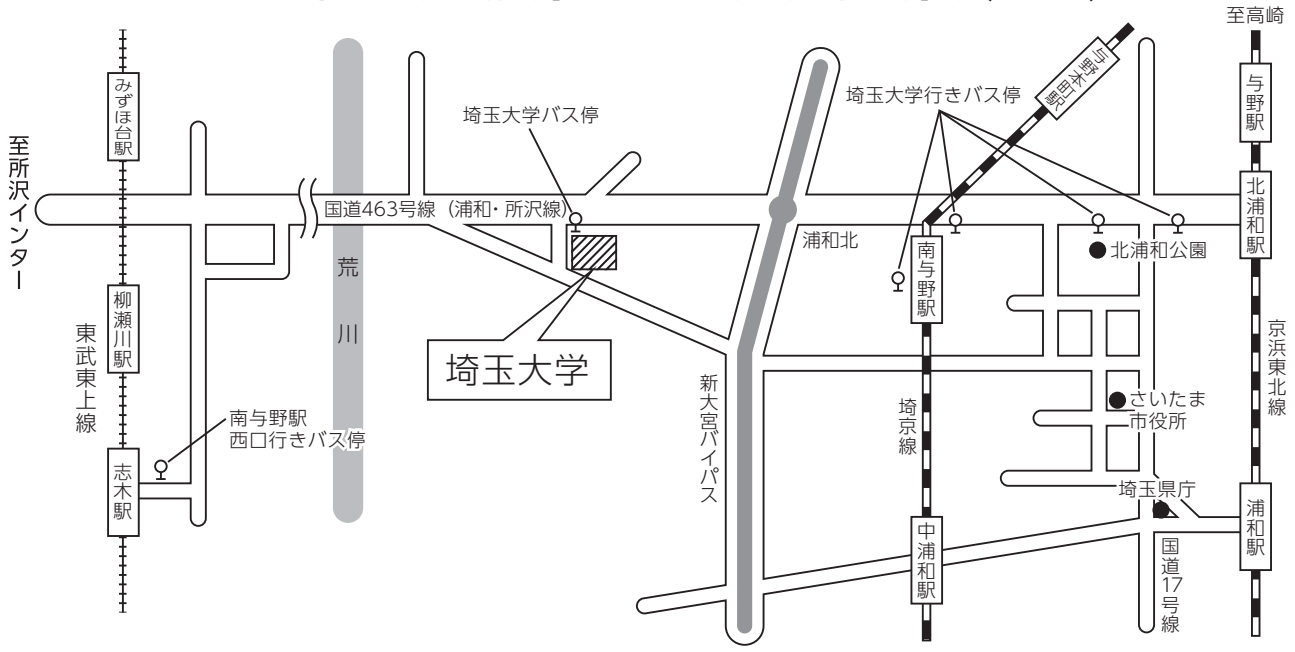
《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

試験会場案内図

◎埼玉大学（さいたま市桜区下大久保 255）

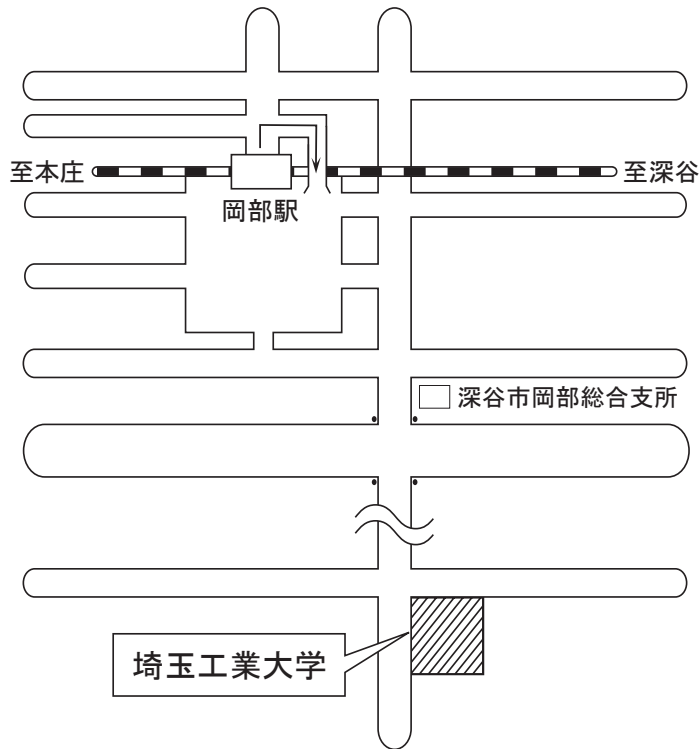
●JR京浜東北線「北浦和駅」西口よりバス約15分「埼玉大学」行（終点下車）



車・バイクでの来場は厳禁 大学周辺への無断駐車厳禁

◎埼玉工業大学（深谷市普濟寺1690）

●JR高崎線「岡部駅」下車徒歩15分



（大学内、大学周辺及び駅周辺にコンビニ等はありません。）
 （エレベーター利用ができないため、階段のみとなります。）

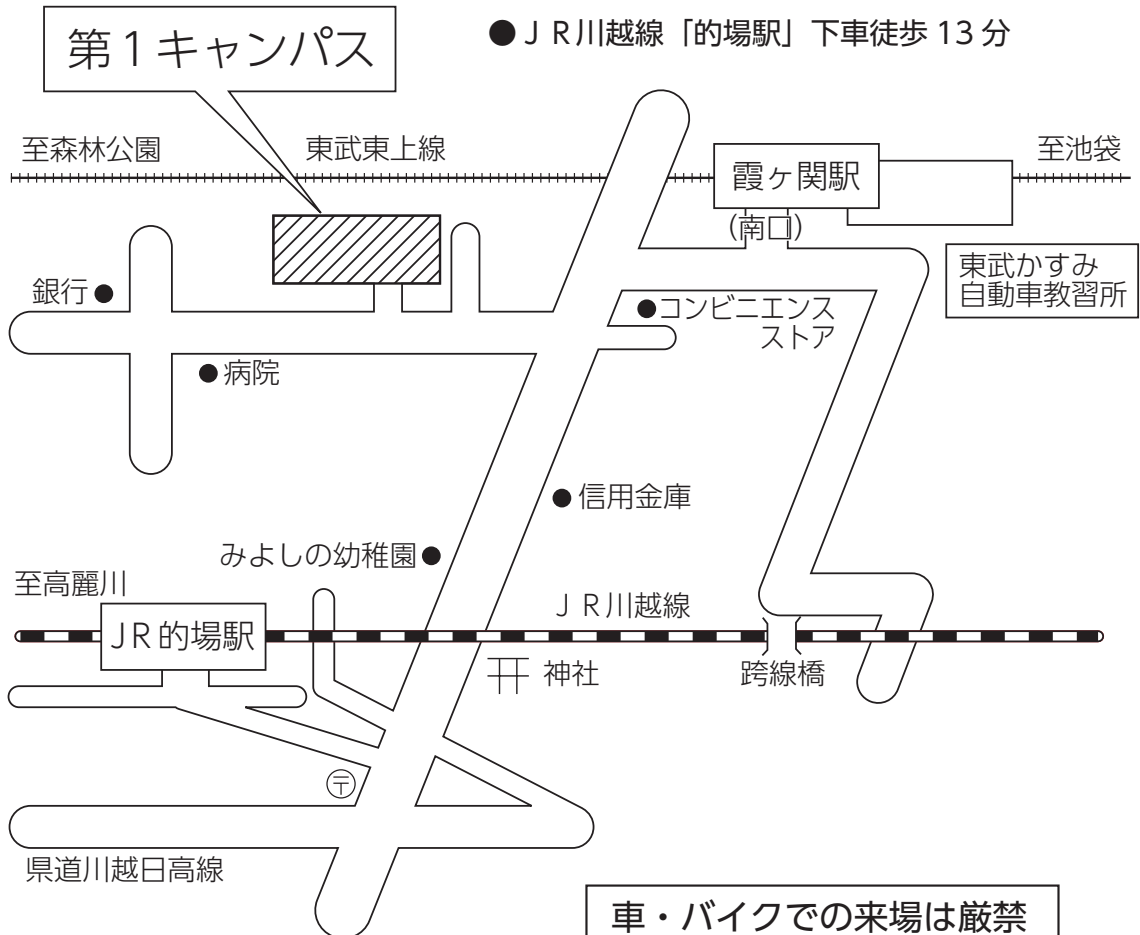
大学周辺への無断駐車厳禁
 学内禁煙

試験会場案内図

◎ 東京国際大学第1キャンパス

(川越市的場北1-13-1)

- 東武東上線「霞ヶ関駅」南口下車徒歩5分
- JR川越線「的場駅」下車徒歩13分



車・バイクでの来場は厳禁

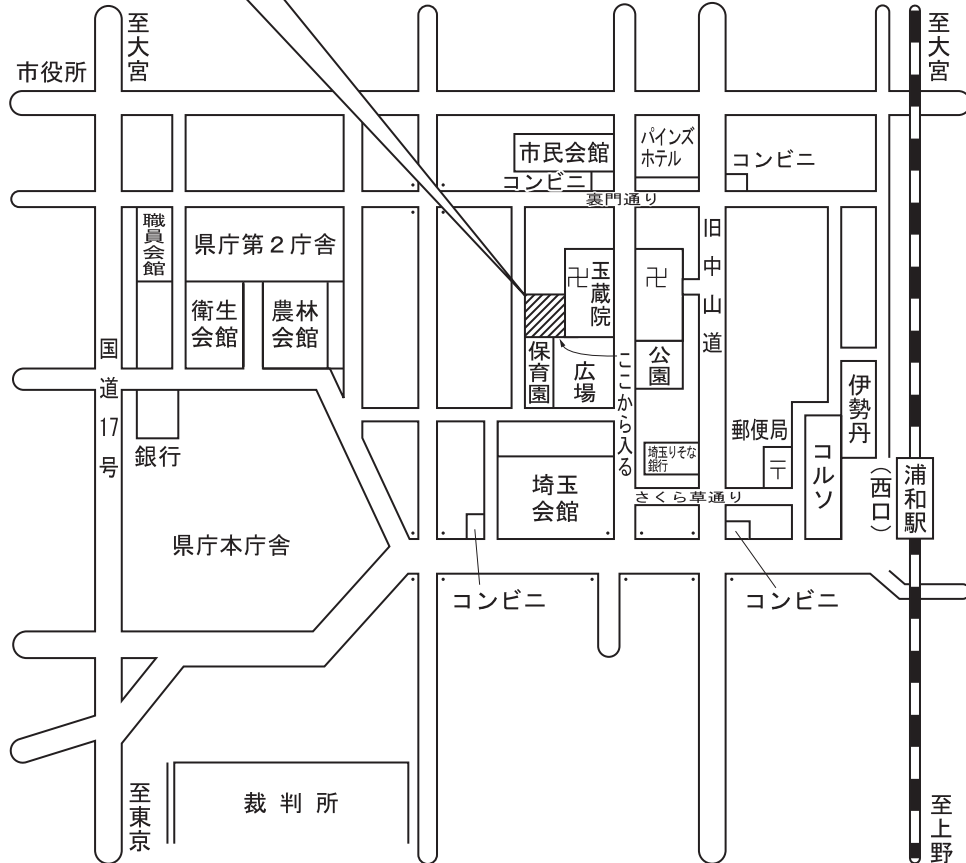
大学周辺への無断駐車厳禁

学内・近隣道路禁煙

埼玉県支部案内図

ほまれ会館・2階

JR「浦和駅」下車 西口から徒歩6分
(宇都宮線・高崎線・京浜東北線) ※駐車場はありません



〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8

ほまれ会館2階

(一財)消防試験研究センター埼玉県支部

TEL 048 (832) 0747

FAX 048 (825) 0748

【インターネットホームページ】

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/11saitama/>



★免状の書換えを行ってください

- 免状記載事項（氏名、本籍地等）に変更が生じたときは、遅滞なく書換えを行ってください。
- 免状の写真は、交付日から10年以内に書換えが必要です。
- 免状を亡失、汚損等したときは、免状を交付した都道府県で再交付を受けることができます。
→ お問い合わせは 埼玉県支部(048-832-0747)まで

★危険物取扱者保安講習会を受講してください

- 危険物取扱者免状を所持し、現に危険物施設で危険物の取扱作業に従事している方は、危険物取扱者保安講習を受講しなければなりません。
→ 詳しくは 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会(048-834-7784)まで